

## 課題1

# 選果施設を中心とした キュウリとナスの産地強化

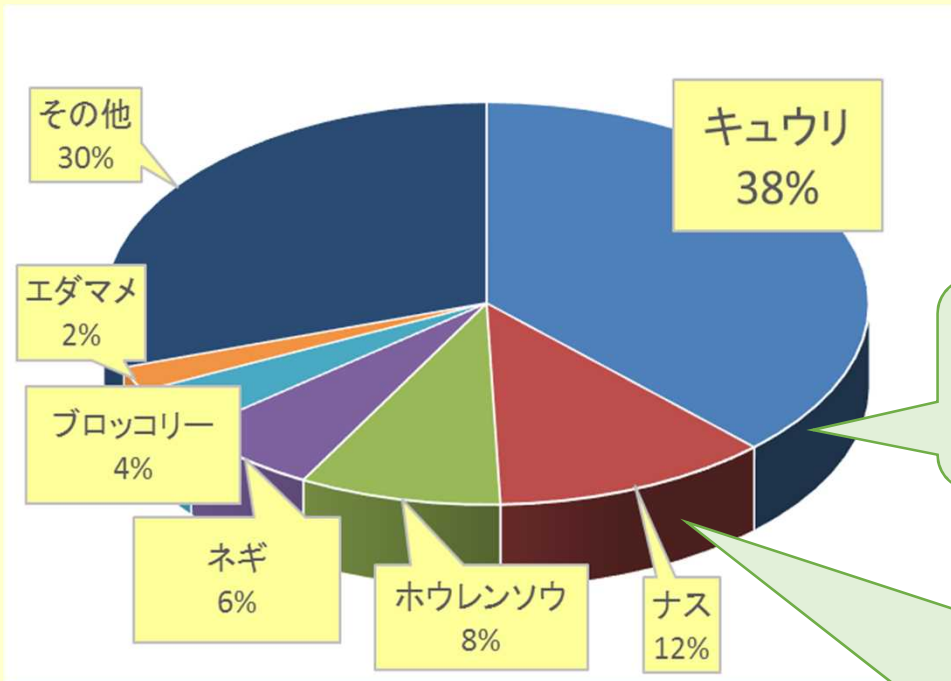
計画年度：令和3～5年



中部農業事務所普及指導課

# 課題設定の背景及び理由

## 1 前橋市のキュウリとナスの生産状況



専作経営が多く、大規模経営体も出現  
生産者数 **148戸** 作付面積**43.4ha**

露地ナスは初期投資が小さく新規栽培者が増加  
ハウスナス

生産者数**31戸** 作付面積**7ha**

露地ナス

生産者数**154戸** 作付面積**23ha**

## 2 キュウリ・ナスの共通課題

◆出荷調製に労力を要するため、その軽減を目的に

平成29年度 JA前橋市きゅうり・なす選果場建設

削減された労力 → 栽培管理＋ゆとり  
収量増加＋品質向上 = 高収益 (> 選果コスト)

◆課題

選果場の処理能力 → 受入量・利用者数が制限

粗選別の徹底等による選果効率の向上



受入可能量の増加 = 新規利用者の増加

# 支援事項と解決手法

## 1 選果施設利用組合の活動支援

- ◆粗選別の徹底等による選果効率の向上

## 2 キュウリの収量向上

- ◆「収量増加に向けた勉強会」活動支援
- ◆若手生産者の育成

## 3 ナスの高品質安定生産

- ◆(ハウス・露地)既存栽培者の技術向上
- ◆(露地)栽培経験5年以内の栽培者、新規栽培者の  
技術習得  
新規栽培者の確保

## 到達目標(目標年次の姿)

| 年次             | R2    | R3    | R4    | R5    |
|----------------|-------|-------|-------|-------|
|                | 現状    | 目標    | 目標    | 目標    |
| キュウリ<br>出荷量(t) | 7,102 | 7,300 | 7,450 | 7,600 |
| ナス<br>出荷量(t)   | 1,661 | 1,680 | 1,770 | 1,800 |

# 活動経過及び結果

## 1 選果施設利用組合の活動支援

### 【活動経過】

露地ナスの粗選別徹底

役員会、目揃え会、新規利用者説明会等7回開催

### 【活動結果】

◆選果効率の向上 → 新規施設利用者(R3)  
露地ナス 18名  
キュウリ 5名

◆選果施設の市場向け出荷量

R3目標 3,930t → R3実績 3,994t

## 2 キュウリの収量向上

(1)「キュウリ収量増加に向けた勉強会」の活動支援

◆「**キュウリ収量増加に向けた勉強会**」の設立

(目的) 環境制御技術活用による収益の向上

(構成員) 技術・反収向上に意欲的な生産者

R2年2月(設立時)12名

R3年3月～現在 **20名**

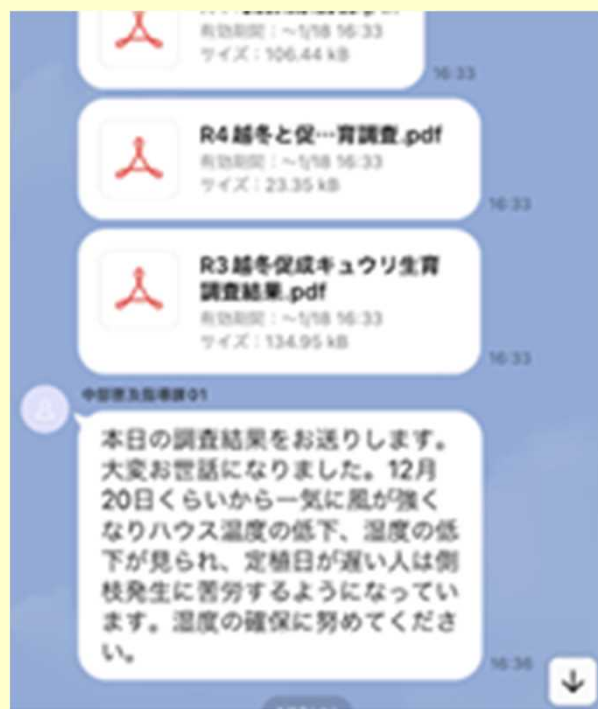
技術を産地に普及する牽引役

## 【活動経過】

### ① LINEによる情報共有

#### ◆ 生育調査、生育動画撮影

- ・ 調査結果や動画を共有
- ・ 出荷実績や技術資料の共有



結果の共有及び助言



生育動画や環境データの共有



## ② 現地研修会を各作型ごと開催

6月30日、11月2日、12月9日

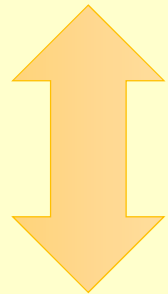
- ・生育や栽培管理の確認
- ・意見交換



現地研修会

## ③ オンラインでの意見交換会開催

JA佐賀の生産者・担当者等



Webで意見交換会

「キュウリ収量増加に向けた勉強会」10名



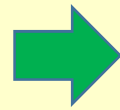
オンライン意見交換会

## 【活動結果】

### ◆勉強会参加者平均10a当たり収量

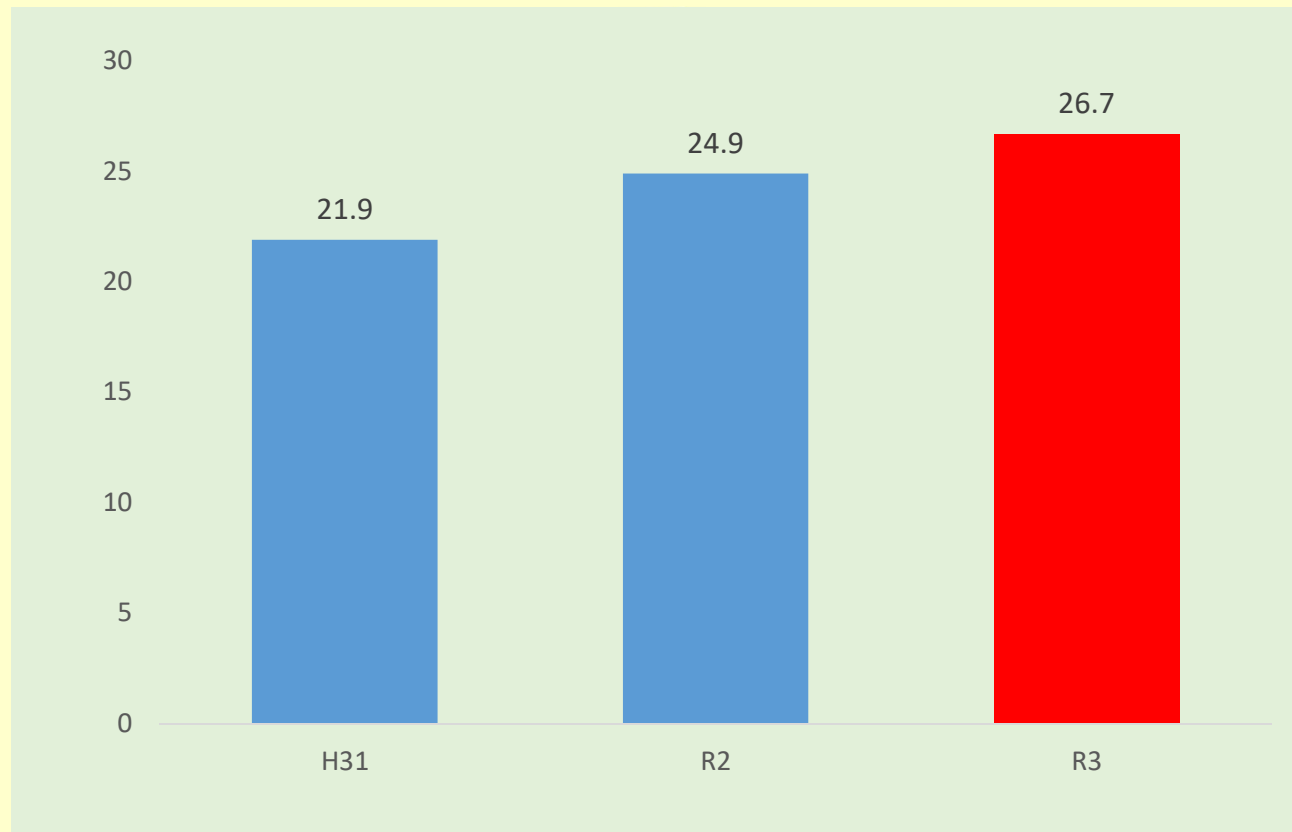
・H31設立時

21.9t/10a



本年実績

26.7t/10a



## (2) 環境制御技術の導入

### 【活動経過】

#### ◆環境制御技術の一般農家への普及

現地講習会や巡回時に継続的な情報提供と呼びかけ

### 【活動結果】

#### ◆環境制御機器導入戸数

R2 48戸 → R3 54戸

炭酸ガス発生機 6戸、環境測定器 3戸

(新規導入者 6戸)

※経営継続等コロナ対策の補助事業等を活用

### (3) 若手生産者の育成

#### 【活動経過】

#### ◆基礎技術研修会 16名参加

(JAと連携し、栽培経験の少ない農家を対象)

篤農家の視察研修 ～ キュウリの知識・技術向上

#### 【活動結果】

- ◆篤農家技術の習得
- ◆新技術導入による生産性向上
- ◆若手生産者同士の交流
- ◆若手生産者の早期の経営安定に寄与



先輩のほ場で現地研修

### 3 ナスの高品質安定生産

#### (1) 既存栽培者の技術向上

##### 【活動経過】

- ◆ハウスナス整枝研修会 1回
- ◆露地ナス整枝研修会 各地区1回×5地区
- ◆褐紋病発生実態調査 3箇所

##### 【活動結果】

- ◆ハウスナス整枝管理技術の向上
- ◆露地ナス整枝管理技術の向上
- ◆褐紋病発生実態の把握と防除対策の実施、  
次年度栽培講習会での情報提供

## (2) (露地)栽培経験に応じた栽培者への技術指導

### 【活動経過・結果】

- ◆基礎技術研修会(経験5年以内) 4回  
参加者平均反収5.7t/10a(一般農家5.8t/10a)
- ◆新規栽培者現地講習会 6回  
参加者平均反収5.5t/10a(一般農家5.8t/10a)
- ◆新規栽培導入予定者説明会 1回  
参加者5名



基礎技術研修会



新規栽培導入予定者説明会

## 到達目標に対する取組実績

| 年次             | R2    | R3    |       | 実績／目標<br>(%) |
|----------------|-------|-------|-------|--------------|
|                | 現状    | 目標    | 実績    |              |
| キュウリ<br>出荷量(t) | 7,102 | 7,300 | 7,065 | 97           |
| ナス<br>出荷量(t)   | 1,661 | 1,680 | 1,744 | 104          |

# 残された課題と今後の対応

## 1 選果施設利用組合の活動支援

粗選別の徹底等による選果効率の向上

- ◆役員会・検討会の開催
- ◆露地ナス目揃え会の開催

## 2 キュウリの収量向上

「キュウリ収量増加に向けた勉強会」による技術検討と一般農家への技術普及、若手生産者の育成

- ◆キュウリ収量増加に向けた勉強会の活動支援
- ◆環境制御機器の導入推進と活用技術の普及
- ◆基礎技術研修会の継続



### 3 ナスの高品質安定生産

#### ハウスナスの生産性向上

- ◆従来品種の整枝技術等の向上
- ◆単為結果性品種の生産安定技術の習得

#### 露地ナスの生産安定

- ◆新規栽培者等の技術習得
- ◆定期的な現地講習会や検討会等の継続

### 4 担い手対策

#### 露地ナスの新規栽培者の受入体制整備

- ◆研修受入協議会の設立  
R3から検討始め、R4設立に向けて準備中